

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：平成31年 3月 26日

事業所名 岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山 保護者等数(児童数) 6名 回収数 6枚 割合 100.0 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	1	0	1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	3	0	1	職員の表情に余裕が感じられない。	職員の体制は取れているので、雰囲気作りに注意する。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	0	0	駐車スペースがないことがある。	来客駐車場の確保に努める。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	5	1	0	0		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	2	2	0	0	季節に合った本人が楽しめる内容だと思います。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	4	0		児童の状況に応じて検討する。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	1	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	1	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	2	0	0	面談の回数を増やしてほしい。	適宜面談の機会を作るよう努める。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	3	2	保護者が集まったことがない。他ではある。	直接支援はできていないが、保護者間の連携支援の方法を検討する。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3	0	0		苦情に対する体制変更や対応は迅速に行なうことを継続し、周知・説明を十分行なうよう努める。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	2	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	1	1	3	1		定期的に公表するよう努める。
14 個人情報に十分注意しているか	5	1	0	0			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	2	0	1	記憶にない。インフルエンザの予防接種については見た。	重要事項説明書で説明したが、状況に応じて適時説明をする。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	3	1	1		年2回の火災避難訓練を継続し、災害や防犯等避難訓練の実施を計画する。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	3	2	0	1		緊張が和らぎ、表情が穏やかになるような支援に努める。
	18	事業所の支援に満足しているか	3	3	0	0	土、日、祝日の利用ができるありがたい。リハビリや遊びの時間が増えるといい。新規利用時、空きがなく、定期的利用ができなかった。送迎の距離が長く、保護者送迎の依頼があるが、近くの人協力してほしい。利用回	新規の利用や送迎、利用回数など、本人家族の希望や状況をふまえて、相談支援員の計画に基づいて他事業所と連携しながら、改善できるよう努める。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。